

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	違反屋外広告物除却事業		
事業担当	土木部 土木調整課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 除去ボランティア、自治会等 】		
目的・目標		事業の概要	
除却広告員による、違法なはり紙や立看板の撤去により、安心・安全な道路環境に寄与しています。		まちの美観を保つため、道路上のはり紙や立看板などの違反屋外広告物を、商店会・自治会・PTAなどによる協力員と協働で除却活動を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	除却協力員活動回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	60	50	55	50		
	実績	46	33	29			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	除却協力団体数				単位	団体
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	15	13	14	15		
	実績	12	12	12			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	③：遅れている						
	遅れている理由	違反屋外広告物の掲出の減少により、活動回数が減少したため					
平成23年度の主な取組と成果							
除却協力員の活動回数は減少しましたが、除却協力団体数は昨年度数を概ね維持しました。また、さわやかで清潔なまちづくりキャンペーン(12月17日)では、はり札115枚、はり紙213枚を除去し、市街地の美観を保ちました。							
平成23年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	違反屋外広告物の放置は、美観を損ねるだけでなく、青少年への影響も憂慮されます。また、違反屋外広告物の撤去・除却は、市が委嘱した協力員のみが出来るため、市の関与は大きいです。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業を継続して実施することにより、違反行為の抑制と、地域の安全意識の向上にも繋がります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	まちの美観を保つため、道路上のはり紙や、立看板等の違反屋外広告物を商店街、自治会、PTA等の協力員と協働で除却活動を行います。また、一部業者に委託を行っています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	除却協力員を通じ、市民が率先して活動を実施する契機とします。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		継続的かつ機動的な活動が必要不可欠となる事業のため、今後も各団体と協働で取り組むとともに、団体の充実にも取り組む必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		協力員への活動支援	協力員への活動支援	協力員への活動支援	協力員への活動支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	2,892	1,501	1,470	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	12	1,590
事業費 (A)		2,892	1,501	1,482	1,590
執行率 (%)		86.28	90.64	89.49	
内訳	職員 (人)	0.75	0.75	0.75	0.75
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		6,267	6,195	6,078	6,012
フルコスト (A+B)		9,159	7,696	7,560	7,602

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	まちの美観を保つため、除却協力団体の充実を図りつつ、協働による除却活動をします。
課長コメント	業者委託に加え、市民が主体となった活動を展開することによりまちの美観を保つことは、安心・安全な道路環境づくりに寄与することから、今後も引き続き事業全体の充実を図っていきます。